

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月29日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	市役所庁舎管理事務		コード	16509
2 担当部課	部等 総務部	課等 総務課	作成者	吉田 晋
3 事業概要	目的体系	基本目標	みんなでつくる、確かな未来を拓くまち	
		政策	市政運営の推進	施策 その他
		予算科目	庁舎管理費	業務委託 一部委託
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助 なし
		根拠法令	岡谷市庁舎	

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要（簡潔に）	市役所本庁舎の管理業務	
目的	対象者	市民・職員
	意図	来庁者にとって利用しやすく、職員にとっては仕事がしやすい施設とする。

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
1 主な改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎消火設備更新工事 (8,748,000円) ・ 9階大会議室音響設備更新工事 (880,000円) ・ 市役所庁舎空調設備修繕工事 (3,445,200円) ・ 庁舎9階軒天修繕工事 (957,000円) ・ 庁舎等消防設備修繕工事 (478,970円) ・ 庁舎3階女子トイレ和洋改修等工事 (499,400円) ・ 庁舎2階トイレ洗面所水栓工事 (391,600円) 	
2 岡谷市役所環境保全の率先実行計画	平成28年度から平成32年度（令和2年度）までを計画期間とする「岡谷市役所環境保全の率先実行計画Ⅴ」に基づき、本市の事務事業から排出される温室効果ガスの排出抑制など環境への負荷の低減を図るとともに、リデュース、リユース、リサイクルの一層の推進に努めた。	
3 庁舎維持管理運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の維持管理運営業務 ・ 施設及び設備等の維持修繕並びに工事業務 ・ 来庁者の利便性及び職員の執務効率向上のための改修事業 ・ 来庁者へのインフォメーション業務 ・ 庁舎の環境保全業務 	
前年度の課題への対応	市役所庁舎等防火設備について、法定検査の結果を受け	

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）			[単位：円]
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	79,692,854	69,606,761	83,314,439	75,945,000
経常経費	63,492,854	69,606,761	71,364,619	75,945,000
臨時的経費	16,200,000	0	11,949,820	0
* 臨時的経費の説明	庁舎に関する工事費 R01：工事請負費、備品購入費			
② 人件費	9,200,000	9,200,000	9,200,000	9,200,000
正規職員の人数（人）	1.15	1.15	1.15	1.15
③ 合計コスト（①+②）	88,892,854	78,806,761	92,514,439	85,145,000
前年度比		88.7%	117.4%	92.0%
財源	48,852,006	50,409,782	57,658,986	57,459,000
内訳	40,040,848	28,396,979	34,855,453	27,686,000
* 特定財源の説明	行政財産使用料、行政財産管理料、私用電気料、広告料、地方債			
④ コストに関する補足説明	令和元年度は、前年度比において庁舎の工事に伴う工事請負費が発生するため予算が予算が大幅に増額となったため。			

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
なし	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)
	設備関連：建物、設備等の老朽化等により、修繕箇所が増加している。エレベータ、空調設備などで不具合が生じており、予防的修繕に努めていくことが求められている。
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	庁舎の個別施設計画の見直しと修繕必要箇所の洗い出しを行い、優先順位等を見極め対応を図る。
改善開始時期	令和2年4月から

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	
----------	--------	---	--